

2014年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	情報学科						
科目名	データ構造とアルゴリズムⅠ 演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修科目						
担当者	戒田 高康 / 佐塚 秀人						
授業の到達目標 (シラバスから)	・基本的なアルゴリズムや計算量の概念を理解し、簡単な問題に適用できる。 ・基本的データ構造、抽象データ型を理解し、簡単な問題に適用できる。 ・構造化プログラミングの意味を理解し、簡単な問題に適用できる。						
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法を説明し、その他についての簡単な説明 4/18 レポートの作成法についての演習 4/25 データ構造の基礎、抽象データ型についての演習 5/02 リスト、スタック、キューについての演習 5/09 木構造、クラスについての演習 5/23 フローチャートの基礎（端子と接続）についての演習 5/30 フローチャートの基礎（分岐と反復）についての演習 6/06 第1回総合演習 6/13 再帰的アルゴリズムについての演習 6/14 線形探索についての演習 6/20 二分探索についての演習 6/27 バブルソートについての演習 7/04 第2回総合演習（その1：クイックソートなど） 7/11 第2回総合演習（その2：平衡木とB木など） 7/25 総合演習についての解説						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	100%		プレゼンテーション			
	課題 演習			計	100%		
授業到達目標の達成度	全ての合格した学生が、 ・基本的なアルゴリズムや計算量の概念を理解し、簡単な問題に適用できる。 ・基本的データ構造、抽象データ型を理解し、簡単な問題に適用できる。 ・構造化プログラミングの意味を理解し、簡単な問題に適用できる。 の70%以上を理解している。						
反省点	期間中の後半に全評価の40%を占める第2回総合演習課題を、更にその後に8%分の配点レポートを配置したため、期末試験期間中と重なり全体の48%に関わるレポートが疎かになった学生が少なからず存在した点が挙げられる。						
来年度の計画	期間中の中盤に配置した第1回総合演習課題の配点をもう少し上げることにより、期間後半の配点的な重みを下げる。						
授業評価アンケートに対するコメント	設問13に関しては本科目の評価に直結するので、全科目平均に対しても非常に高いことは評価できる。一方、その他の評価が全科目平均に対して低いのは直前のコマに講義科目が配置されているため解説がそのコマで行われることが原因であると思われる。						
履修登録者数	71 名	定期試験 受験者数	70 名	合格者数	66 名	合格率	94%